

思ひわび さても命は あるものを

憂きにたへぬは 涙なりけり

世の中よ 道こそなけれ 思ひ入る

山の奥にも 鹿ぞ鳴くなる

嘆けとて 月やは物を 思はする

かこち顔なる わが涙かな